

発行日 令和3年1月1日

Vol
62

ふれあい

(題字 西端勝樹守口市長書)

謹
賀
新
年

令和三年 元旦

公益社団法人

守口市シルバー人材センター

〒570-0097 大阪府守口市桃町3番30号
TEL.06(6998)3601 FAX.06(6998)3659

Mail:moriguchi@sjc.ne.jp

http://www.sjc-moriguchi.or.jp/



理事長

人見 繁

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、初春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、シルバー人材センターの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の災禍に対し、就業先や家庭など、それぞれの場所での感染防止対策で、ご苦労されたことと思います。

センターでも、高齢者の感染は、重症化する恐れがあることから、総会・シルバーフェア・役員合同研修会をはじめ、会員忘年会など、センターの行事を、やむなく縮小や中止の決断をせざるを得ませんでした。

今年も感染の脅威は続いており、必要な感染防止対策を講じ、事業を進めてまいりますので、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

さて、干支の丑年ですが、十二支の動物の中でも最も動きが緩慢で歩みの遅い丑の年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年といわれており、黙々と目の前の自分の仕事をこなすことが将来の成功につながる、と言われていきますので、地域から信頼されるセンターとして、会員と役員が「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、一歩一歩着実に事業を推進できる年にしていきたいと考えております。

結びに、会員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。



守口市長

西端 勝樹

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は、人見理事長をはじめ、会員の皆様方には本市政各般にわたり格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症が世界中で拡大し、我が国においても非常事態宣言が発出され、様々な自粛、学校の休業、企業の倒産や廃業など、あらゆる面で影響を受けました。

今後感染が再拡大する危険性を孕はらんでおり、高齢者の方が感染した場合には重症化するおそれもありますことから、会員皆様方におかれましては、仕事に取り組まれる際は、十分に感染防止対策を講じた上で活動していただきますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、公益社団法人守口市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員皆様方にとりまして、本年が幸多き素晴らしい一年となりますよう、心より祈念いたします。新年のご挨拶とさせていただきます。



本年もよろしく
お願い申し上げます。

- 理事長 人見 繁
- 副理事長 三浦 儀寛
- 常務理事 川部 政彦
- 理事 相原 伸次
- 理事 安達 容子
- 理事 柏田 美枝子
- 理事 砂原 廣治
- 理事 筒井 公一
- 理事 鳥野 洋司
- 理事 吉富 秀信
- 理事 渡邊 岩雄
- 監事 井上 三郎
- 監事 神原 隆雄





令和2年度定時総会の風景

令和2年度 定時総会開催される

令和2年5月30日（土）午後2時から、令和2年度公益社団法人守口市シルバー人材センター定時総会が開催されました。

今回の総会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、これまでに経験したことのない異常な状態の中、当初予定していた守口文化センターが閉館となり、新型コロナウイルス感染予防のため、正会員の健康と安全を第一に考え規模を縮小し、来賓へのご案内を差し控え、役員と地区委員のみの参加で、当センター2階会議室を会場として開催されました。全員がマスク着用、手指消毒、窓の開放を行って、会員数1336人中出席者26人、委任状提出者889人により、異例づくめの総会となりました。人見理事長のあいさつの後、議長に安達氏が選出され、議事が始まりました。

第1号議案「会費規程の一部改正について」、第2号議案「令和元年度事業報告の承認について」、第3号議案「令和元年度決算報告の承認及び監査報告について」、原案のとおり可決、承認されました。

第1号報告事項「令和元年度収支補正予算について」、第2号報告事項「令和2年度事業計画について」、第3号報告事項「令和2年度収支予算について」の報告後、三浦副理事長があいさつを述べ、定時総会は無事終了しました。

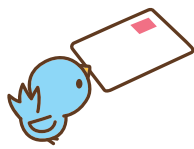
会員の広場

テーマ

コロナ禍での楽しみ

庭窪西11班 庵 洋子

小学生から職場まで一緒だった故郷の親友へ60年ぶりにメール代わりに葉書を出している。日常を思いつくままに書くが、旧家に嫁いだ文才ある友の葉書は、待ち遠しい限り、心がなごみ、里帰りした気分に入る。古い葉書にこれでもかと切手が貼られ、定額以上の時も、消印のない時もあった。今はオンライン通話でたやすく会える時代だが相手を想像して便りをする。数十年振りに会って驚くのを楽しみにしている。

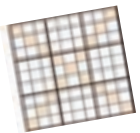


福島県会津地方の
佐統良吉品「赤い猪」は
「魔除けの品」として古くから
愛用されてきました。

絵手紙作者
神頃 信子
賛助会員

守口21班 安部 富夫
センター入会以来、十数年の中で今回「コロナ禍」で緊急事態宣言が発出され、人との接触を自粛、半年が過ぎた。外出は食料の買い出し等のみ、大変な経験をした。哀しい思い出となった。

転職。対人関係の大変さを数多く経験するが今回の「コロナ禍」の三密による対人接触自粛は全くの初めての孤独感。でもこの間、エッセイ集等の読書、クイズ「ナンプレ」の解説等の楽しさを知った。



島根（奥出雲）の山奥で生まれ高校卒業後、大都市大阪（梅田）で就職、いろいろ職業を

守口61班 植田 君子
ー給付金とプレミアム付き商品券を使ってー

我が家は5人家族。コロナ禍で、子どもと孫がそれぞれ在宅勤務になり、食事の用意（夕食の献立だけでも、それに昼食が加わることで）が大変でした。そこで、給付金で出前（ピザ、寿司）が増える。プレミアム商品券で食事のできるところへ。手抜きができて楽ができる。食べることが楽しみです。

しっかり食べて（太って）コロナに負けなようにです。

庭窪西71班 太田 トシエ

コロナ禍の報道番組に毎度ロックダウン、ソーシャル：の意味も分からず見てました。リモートが、〃妹〃に聞こえ「何、〃妹〃がどうした？」 枠に入ってタレントは受け答えしているのに、喫茶友に、「何で〃妹〃？ 不思議やなあ。」 教えてくれました。「〃妹〃ではなく、〃リモート（遠隔）〃とのこと。コロナ禍の楽しい思い出です。

もう一つ覚えました。〃フレイル〃認知症と平常心の間の心理状態です。私は立派な〃フレイル〃になったかな。



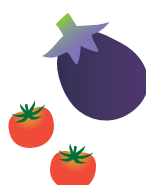
守口21班 柏田 美枝子

2020年、新型コロナウイルスという得体の知れない大きな力で私たちの命や生活が脅威に晒されました。そんな中4月末、孫の誕生があり嬉しい連絡が入りました。近いはずの西宮がとても遠く感じられ会うことはできませんでした。今も時々ラインで送られてくる成長の姿につい顔がほころび、3歳上の姉と今回生まれた弟の笑顔に見入っています。GOTOトラベル！と叫ばれています。まだまだ慎重な生活を送っています。

庭窪西21班 梶原 由利子

家で過ごす時間が増えた5月の初め、近くのスーパーでナスの苗を2本買った。以前枯らしてしまったので、「今度こそは」と思いつつ花の多くついているものを選んだ。鉢に土と肥料を入れてしっかりと植えた。水やりもしてやがて茎も枝も伸びて花の下に紫の小さな実がついているのを見つけた時は、本当に嬉しかった。

初めに出来た3つは、丸い形がいびつで小さくて硬そうな水ナスだったが、主人が育てたミニトマトと一緒に娘へ送りました。



守口41班 木村 憲廣

コロナ禍で私の趣味のトレーニングができないので筋力の衰えが心配で、昨今は歩数計を持って一日一万歩を目標として歩き、少しでも筋力の衰えを遅らせるようにしています。何故かといえば、私のもう一つの趣味が写真撮影と旅行ですので、足腰が弱ったら出掛けられなくなるからです。写真をやり始めたら色々目標が出来、「たとえば守口市展に入選する」又同じ趣味の仲間との交流のおかげ様で、何かと忙しく過ごさせて頂いております。

庭窪西61班 楠木 保司

妻と一緒に、中山寺に行った時、コロナ禍のためか人が少なくゆっくりと参拝できたことと、昔を思い出してゆっくりと1日を過ごせました。

老いた私達二人が、今後の楽しみに、寺参りが出来ることだと思っています。1日元気で過ごせるように妻と二人で祈っている今日です。



庭窪西91班 小松 敏彦

通院や買い物、シルバーの仕事以外は「ステイホーム」を励行の毎日ですが、その中で私のささやかな楽しみは、以前購入したままの本棚に並べられた文庫本を取り出し、横に置いたラジオを聴きながら一冊ずつ読むことです。

ラジオから流れる音楽や語りに耳を傾け、本の内容を頭の中でイメージしながら読み進めていると、とても心が癒やされます。



守口31班 新座 年治

みなさんこんにちは、お元気ですか。私は元気にやっています。

コロナで大変でしたね。私のところでは何事もなく過ごしています。毎年バスツアーに2、3回行っていましたが昨年は行ってないです。

カゼ薬といえば、富山の薬でした。あれを飲んでいけば、たいしては良くなったものです。健康でここまでこれたことがありがたいことです。

戦争はだめだ。小2くらいの時、アメリカのB29の爆音が今も耳から離れない。



庭窪東31班 土田 正美

3月からコロナウイルスによって孫達が学校に行けず我が家にいることが多くなりました。その中に今年20歳になる孫が妻と一緒に台所に立ち、料理をする姿がチラホラと。美容師を目指す学校に通っていますが、目指す道を間違えたのではないかと手つきに味付けも良し、妻が作ったことのないレシピもある。なので食の楽しさが増えた。

18歳双子の孫も片づけに洗い物にと男3人が台所を占領することもしばしば、時代も変わったもんだなあと感じた。

守口61班 中島 邦子

25年前に守口に引越して以来、毎日仕事に明け暮れ、たまに京都に出かけたり旅行はしても守口のこととは殆ど知らなかった。いきなり仕事がなくなり、たいくつな毎日の中、この時とばかりに東西南北へ歩き出した。立派なお寺を見つかったり、かわいいお地藏さんを発見したり、大きな旧家を見つかったり、ステキなお店も発見。コロナ禍での楽しみを見つけて、これからも体も心もリフレッシュのため歩くことにしました。



—家飲みに尽きる—

左党にとっては、それはもう、堂々と「家飲み」ができることに尽きるのでは。

三郷31班 浜田 善輝



懐具合や終電の時刻を気にかけることなく、また、「遅くなつてすみません、明日は早く帰りますから」と山の神に赦しを乞うこともなく。

三国志の英雄の一人、魏の曹操は、蜀や呉との戦に明け暮れる中でこんな句を詠んだ。

「何以解憂 唯有杜康」、何を以てか憂いを解かん 唯杜康(酒) 有るのみ。コロナ禍の憂いを解くために、今夜も家飲みといきま



三郷21班 村田 明雄

コロナウイルスで不要不急の外出を控えていることから、季節感を感じぬまま、時が流れていきます。

昨年の7月の長雨に続いて連日の猛暑になり、歩くこと、農作業もままならない時期が続きました。そんな時、以前から使っていたパソコンで植木剪定全般、日本の有名な庭園、小鳥の鳴き声等の動画を見て楽しく時間を過ごすことが出来ました。



守口91班 村田 智榮子

昨年2月頃からコロナウイルスが世の中で騒がれ、私もジム、フラダンス教室、海外旅行、国内旅行とすべて中止。食品買い出しにも混雑時間を避け、ひたすら家で過ごすように努めました。

すると時間の余裕ができ、趣味の水墨画の練習に精を出すようになりました。以前から描きたかった【ノウゼンカズラ】の花に挑戦する日々でした。守口市で高齢者の作品展（9月3日〜6日 市役所で展示）があることを友人から聞き応募してみました。なんと私の水墨画が「総合美術協会賞」に！コロナ禍転じて、嬉しいできごとでした。



庭窪西31班 森本 梅子

コロナ禍でマスクして仕事に行っています。いつまで続くかわからないので大変です。私も外出しないで家にいます。テレビやカラオケで楽しんでいます。

三郷71班 渡邊 孝

今日までに様々な病気、事故等を経験しましたが、今回のコロナ禍は特別です。でも医学の進歩は必ず良いワクチンを早急に開発してくれることを信じています。「災い転じて福となす」を信じ、日々を過ごしたいと思っています。落ち着いたら、「四国八十八か所」「西国三十三か所」の二巡目を…。

10月6日、インフルエンザ予防接種済



守口31班 吉野 博己

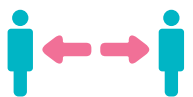
コロナ禍という事態に陥ったことで、生活習慣を大幅に変えざるを得なくなった中で、私自身感染予防を念頭に生活を送っています。その中で公私共の行事への参加も積極的に行う。ゴルフコンペ、ウインド・シヨッピング、ミニコンサート、トレッキング等々の参加によるメンバーとの「ふれあい」を心待ちに楽しみにしています。



高齢者の方がコロナウイルスに感染した場合、重症化するおそれがあります。

3密（密接・密集・密閉）を避け、マスクの着用、手洗いを励行し、安全に楽しくコロナ禍を乗り切りましょう。

離れて



手指の消毒



消毒



換気



マスク着用



手洗い



今年の

丑年
2021年

年男・年女



- ① 今年楽しみにしていること
- ② センターに入ってからよかったこと
- ③ 趣味・特技



守口21班 安部 富夫

- ① 今年も健康に注意し元気な丑年の一年にしたい
- ② 会員相互の諸体験とふれあいによる生きがい
- ③ 読書（エッセイ集）、ウォーキング、カラオケ



守口31班 新座 年治

- ① コロナもあるし今年一年静かに過ごしたい
- ② 多くの人に会えたこと
- ③ 特になし 本を読むことくらい



守口31班 吉野 博己

- ① 孫達3人へクリスマスプレゼントを贈ること
- ② 訪問介護の仕事を通じ本人様や関連先と交流
- ③ 映画、音楽鑑賞並びにゴルフ、トレッキング



守口41班 木村 憲廣

- ① 50年来の友と新潟へ旅行すること
- ② 写真同好会が発足し、参加できたこと
- ③ 写真撮影と旅行が趣味 昨年は厳寒の根室旅行



守口61班 植田 君子

- ① 一年に一度の旅行です 行きたいです
- ② 催事に参加でき、仕事をさせてもらえること
- ③ 健康である 出張理髪ができること パズル



三郷11班 小寺 満夫

- ① コロナで一年延長のオリンピック、パラリンピック
- ② 高齢化社会で人との助け合い、働けることに感謝
- ③ 植木の剪定、学校、神社、近所のお宅など



三郷11班 藤内 正信

- ① 大学生の孫と4月に旅行に行くこと
- ② 微力ながら社会的な繋がりと貢献が感じられたこと
- ③ 農園の一面を借りて季節の野菜などを作ること



三郷11班 今村 正

- ① ゆっくりと温泉に入ること
- ② 人との出会い
- ③ スポーツ観戦



三郷21班 島上 道子

- ① 少し遠くの方へ旅行をしたいと思っています
- ② 多くの人たちと出会って色々教えていただきました
- ③ 40年あまり詩吟をしています これからも続けていきたいです



三郷71班 渡邊 孝

- ① 昨年10月1日に元気で可愛い女兒誕生、健やかな成長を祈る
- ② 多種多様な経験を積んだ 心豊かな人々と出会う
- ③ ヘボ将棋、ザル碁、ヘタ麻雀、一週間5万歩の散歩



三郷101班 細川 義則

- ① コロナが早く終息して皆さんと旅行に行くこと
- ② 仕事をしていることで毎日張り合いがあること
- ③ 趣味はボーリング、競馬 特技は特になし





三郷141班 岡田 正子

- ① 特にありません
- ② 皆さんと仲良くお仕事ができることです
- ③ 特にありません



庭窪西21班 梶原 由利子

- ① 愛知と滋賀に住む子供達の所に遊びに行くこと
- ② 生涯の現役、青春と成長を目指していけること
- ③ ミシンで小物を縫うこと、新聞を読むこと



庭窪西31班 森本 梅子

- ① 小学校でのもちつき大会が楽しみです
- ② 元気で仕事できることが嬉しいです
- ③ カラオケ大好き 元気に歩くこと



庭窪西61班 安達 容子

- ① 楽しみとはいえないが、断捨離をすること
- ② 会員の皆様とシルバー人材センターの職員さんと触れ合えたこと
- ③ パソコンのパズルゲーム 特技は特になし



庭窪西61班 国房 義春

- ① 子どもたちと一緒に旅行に行くこと
- ② 人との繋がりができたこと、体を動かせること
- ③ 淀川で仲間たちと魚釣り、ドライブ



庭窪西61班 楠木 保司

- ① 新しい職場に変わって、昔を思い出して勉強できること
- ② 色々な人と親しくなれたこと
- ③ 妻とお参りに行くこと



庭窪西111班 山田 正則

- ① 今年はいいい年になり、オリンピックが見たい
- ② 老後の生きがいが見つかり、ボケ防止にも良好
- ③ 野球、ラグビーの観戦 特技は珠算三段



庭窪東31班 土田 正美

- ① 初孫が妻の父親の袴を着ている成人式の晴れ姿を見ること
- ② 多種多様な職を持った人達の交流が良かった
- ③ 自宅での家庭菜園、読書をする



庭窪東81班 田中 宗男

- ① コロナウイルスが無くなったらい一度田舎に帰りたい
- ② いろいろな仕事があるから良かったと思います
- ③ 野球を見ること



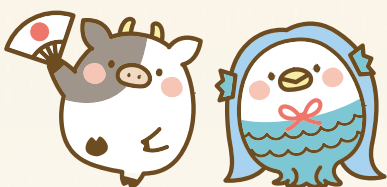
庭窪東141班 榎本 美枝子

- ① スクールヘルパーでの修学旅行への同行
- ② 子供と向き合えること
- ③ ちょっとした洋裁、歌うこと、花を育てる



庭窪東171班 中野 正信

- ① コロナ収束すれば東北一周旅行を予定
- ② リタイア後の不健康からの脱却と人生勉強
- ③ 写真撮影（デジタルとフィルム）、パソコン自作



こんな仕事を しています



運搬班

爽快!! 縁の下の力持ち

広田 寔 会員

植木剪定班や除草班の縁の下の力持ち的役割を担っている運搬班で活躍されている広田さんは平成24年から今の仕事に従事されており、この道8年のベテランさんです。運搬班は2名1組でA、B、Cの3班から構成されており、2週間勤務、1週間休みのローテーションで働いておられます。主として、冒頭の2班の道具の搬入・搬出、残材の木や葉の廃棄物を守口市のクリーンセンターや生駒の「都市樹木再生センター」まで運びます。

広田さんは、「自分たちの役割は、メインの剪定や除草をされている



上が広田会員

方々に気持ち良く仕事をしてもらうよう心掛けること。」と話され、そのために必ず前日に持って行く道具類の忘れ物が無いように入念にチェックされておりました。

また、現場での苦楽をお伺いすると、「今般のコロナ禍で、施主さんとお話しする時は必ずマスクを付けることや、駐車する時はご近所の迷惑にならないよう気をつけること等、センターで廃材を降ろすのに少し苦勞しますが、しかし、道具類の搬入搬出、残材回収の段取りがタイミング良くピタリと決まった時はとても爽快です。」とご苦勞と喜びを話されました。

おかげさまで、毎年春から年末にかけて多くの仕事があり（1日平均3軒多い時は7軒）特にお正月を清々しく迎えたいので、10月から年末の最盛期はとつても充実して

おられるようです。

広田さんは、「シルバーで仕事をすることで、体力的にも精神的にも健康で充実した生活をここまで送れている事に感謝しています。」とのことでした。

結びに、取材担

当の家にも古いモチの木が1本あり、シルバーで剪定をしていただきましたが、剪定の道具は朝の7時過ぎには先もって搬入され、剪定された後はゴミ一つ残さず非常に綺麗にしてもらい、大変感謝！感謝！と成りました。

（取材担当 広報委員 富山・森田）

マックスバリュ守口高瀬店

感謝の心で勤めて6年目

井久保 光彦 会員

取材班は、9月末の夕暮れ、マックスバリュ守口高瀬店で就業している井久保さんの勤務が始まる少し前に職場をお訪ねしました。

井久保さんは、背筋もピンと、えんじ色のエプロンをスマートに着こなし、店舗のフロアーに立たれると素敵な店員さんに変身です。センターに入会後は、色々な仕事を紹介されましたが、今の仕事には6年前に出会いました。

自宅から近く、週数回のシフト勤務であり、若い学生アルバイトさんから元気をもたらえる好条件で頑張っただけではありません。業務内容は、荷受け、商品補充、整理整頓、お客様対応など多岐にわたります。現在9人の会員がいくつかの部署で頑張っておら

れます。長い期間勤務していますので、色々なことがありましたが、健康と良い職場に恵まれ、また木が好きな仲間との交流などが今の元気のもととなっております。

現在の楽しみは、シフトの合間を縫って、木が好きな仲間たちと大阪府内の公園や以前住んでいた奈良の方まで木の探索に出掛け、どんぐりやくるみ、木の実を収集し、色んな彫り物を作って楽しんでおられます。「自分の力は知れています。色々な人からサポートをもらい、また孫みたいなのが若い学生さんにも助けられ、元氣も貰っています。本当に有難いことです。大きな持病もなく健康に恵まれてきたのは有難いです。」と薩摩男児である井久保さん。

感謝の心を忘れない謙虚な姿勢や若い人との交流、これが何事も長く続けられる秘訣ではないかと感じました。

(取材担当 広報委員 浅田・古家)



ゆうゆうの里

老人ホームで食事介助と話し相手

濱坂 末子 会員

守口市シルバー人材センターでは、有料老人ホーム「ゆうゆうの里」で掃除や食事介助と話し相手、喫茶コーナーの来客対応など約15名の女性会員の方が就業しています。

今回は、2年前から入居者の食事介助や話し相手をされている濱坂会員に職場で話を伺いました。

濱坂さんは、40年近く自営業の事務に従事し、その後ハローワークで仕事を探されたそうですが、年齢面で就業が出来ず、「広報もりぐち」でシルバー人材センターを知り入会されました。

入会後すぐに今の仕事を紹介され、身内の介護経験があったとはいえ介護や認知症の方のお世話ができるか不安でしたが、新規の仕事で4名の会員と一緒に始められました。

仕事内容は、シフト制(朝、昼、夕各3時間)で1日1又は2勤務され、要介護や認知症の方の食事介助では、誤嚥を防ぎ楽しく食事ができるように心がけています。また、時間がある時は、自分の家族と思いながらお話し相手や、折り紙などを一緒に

します。

入居者の方は、穏やかで上品な女性の方が多く、「ありがとう。」や「待ってたよ。」と声を掛けられると、嬉しくなります。

職員の方も明るく親切で、若い職員の方々が汚れ仕事もいとわず笑顔で親身にお世話している姿を見ると、「徳積み」をさせてもらっていると感じ仕事にやりがいを持てるそうです。

今後の抱負は「シルバーの仲間を増やしプライドを持って、高齢化社会に少しでもお役立ち出来るように、体が動く限りこの仕事をしていきたい。」と明るく語る濱坂さんの前向きな姿に心を打たれました。

(取材担当 広報委員 安達・渡邊)



賛助会員

当センターの事業目的に賛同し、事業発展にご協力いただいています。

(順不同)

社会福祉法人 来迎寺学園

株式会社 山本製作所

山岡金属工業 株式会社

社会福祉法人 守口市社会福祉協議会

守口門真商工会議所

株式会社 宮本ハウジング

株式会社 マサキ

一般財団法人 日本老人福祉財団 大阪ゆうゆうの里

株式会社 トークテイ守口

株式会社 dixsept

砂原鍼灸院

学校法人津嶋学園認定こども園 三郷幼稚園

さらやあすなる医院

近畿刃物工業 株式会社

共栄工業 株式会社

大阪国際大和田幼稚園

株式会社 エフエムもりぐち

植田土地建物 有限会社

株式会社 いたや酒店

【 個人 】

(五十音順)

安藤 直

石井 カヨ

石川 憲子

岩永 清美

河瀬 十二

木村 逸郎

木本 鷺朗

寿 敏美

佐藤 貞子

白井 美念子

神頃 信子

高島 恵美子

高松 文子

田淵 恵美子

名倉 二二三子

南部 和義

野口 仁

深井 哲夫

藤森 俊秀

萬代 昌子

吉國 キヨ子



編集後記

令和三年丑年、明けましておめでとございます。

昨年1月に始まった新型コロナ禍は、世界中に広がり、当り前と想っていた「自由」を私達から奪いました。また、感染防止から様々な催しが中止になり、本誌の誌面構成にも影響を及ぼし、皆さまの生き生きとした姿をお届けできないことが残念です。

このような中、本誌に頂いた寄稿からは、ステイホームのなかで地元・家族との絆を再発見した様子など、皆様の逞しい姿が伝わってまいりました。

私達には、「耐える力」とあらゆる場面に対応し工夫する「知恵」があります。「ソーシャル」や「リモート」などの新たな言葉に戸惑いもありますが、ウイルスという見えない脅威に打ち勝ち、本センターの様々な活動や行事が復活・継続することを心より願っております。

今年も、より一層元氣なシルバーを発信してまいりますので、何卒ご支援をよろしくお願い申し上げます。

マスクの下はいつも笑顔です。
(編集後記担当 森田)

広報委員会

- 委員長 安達 容子
- 副委員長 渡邊 岩雄
- 委員 浅田 勉
- 委員 富山 好美
- 委員 古家 裕美
- 委員 森田 玲子